

## 11・12月の薬草園



木陰エリア



東エリア



西エリア



## シマカンギク

*Chrysanthemum indicum* L.

(キク科)

生薬：野菊花(ノギクカ)

部位：花部(頭花)

効能：血圧降下，眼精疲労回復。

漢方：釣藤散



## カワラナデシコ

*Dianthus chinensis* L.

(ナデシコ科)

生薬名：瞿麦(クバク)

部位：地上部

効能：利尿，消炎，通淋。

漢方：瞿麦散

秋の七草のひとつ。



## ツワブキ

*Farfugium japonicum* Kitam.

(キク科)

生薬名：石菖(イシブキ)

部位：葉部

効能：解毒，排膿，皮膚病。

漢方：恵命我神散

若い茎は灰汁抜きして佃煮に供する。



## クちなシ【局】

*Gardenia jasminoides* Ellis

(アカネ科)

生薬：山梔子(サンシシ)

部位：果実

効能：消炎，解毒，鎮静。

漢方：黄連解毒湯

食用の黄色色素として栗きんとんなど，色付けに幅広く利用される。



## ワタ

*Gossypium arboreum* L.

(アオイ科)

部位：種皮の綿毛，種子

利用：綿毛は繊維に。種子

を圧搾した油脂は綿実油に利用される。



## ダイダイ【局】

*Citrus aurantium* L.

(ミカン科)

生薬：枳実(キジツ)

部位：未熟果実

効能：健胃，消化不良。

漢方：四逆散

鏡餅に載せるダイダイ(代々)。子孫繁栄の縁起物として親しまれている。

# 似たもの植物

## 容姿がよく似たエビスグサとハブソウ

ハブ茶(便秘解消や眼精疲労に効果あるといわれている健康茶)の原料は本来ハブソウの種子でしたが、現在では薬効にほとんど差がなく、栽培しやすく収穫量の多いエビスグサの種子が代用されています。エビスグサ(戎草)の名前の由来は「異国から日本に渡来した草」。ハブソウはかつて葉の絞り汁をハブの咬傷に用いたことからこの名がつけられたといわれます。

### エビスグサ【局】

*Cassia obtusifolia* L.

(マメ科)

生薬：決明子(ケツメイシ)

部位：種子



丸みを帯びた葉，うつむいて咲く花



種子は房の中に横並びで艶があり尖っている

### ハブソウ

*Cassia torosa* Cavanilles

(マメ科)

生薬：望江南(ボウコウナン)

部位：種子



先端が尖った葉，上向きに豆果をつける



種子は縦並びで艶がなく丸みを帯びている

## 名の似たサフランとイヌサフラン

\*薬草園だより(79号)参考

### サフラン【局】

*Crocus sativus* L.

(アヤメ科)

生薬：蕃紅花(バンコウカ)

部位：柱頭(めしべ)

効能：通経，鎮静

パエリアやフイヤベースに欠かせない

西洋では極めて貴重な香料・染料として利用されている。



### イヌサフラン

*Colchicum autumnale* L.

(ユリ科)

生薬：コルヒクム

部位：種子

効能：痛風治療薬

園芸品として人気の球茎植物です。

全草に毒成分のコルヒチンを含み、ギョウジャニンニクとの誤食で食中毒の事例も。場合によっては死に至る事故も報告される**要注意植物**です。



薬用植物園  
園長

設楽  
榊原

満希  
巖